効果の波及に係る取組みについて

阪堺線(堺市内区間)の今後の支援の方向性について(第10回懇話会資料より)

・中間検証の結果と市民意見や学識経験者からの指摘事項などを踏まえ、基本的に今までの支援策の方向性を踏襲しつつ、より 一層の支援の目的の達成に向け、「更なる安全性の向上」「阪堺線堺市内区間の早期の自立再生」「市全体への効果の波及」 の3つの観点で進める。

「更なる安全性の向上」

併用軌道区間の軌道改修が概ね完了し、 安全性の確保が図られているが、安全性 を継続的に向上していく必要がある



今後は専用軌道を中心に老朽化対策を継続し、 阪堺線(堺市内区間)の更なる安全性向上をめざす。

「阪堺線(堺市内区間)の早期の自立再生」

支援策による利用者増加や阪堺電軌の自助 努力により、収支改善は図られているが、 阪堺線(堺市内区間)の早期の自立・再生 を図る必要がある。



阪堺電軌の更なる自助努力を促しながら、阪堺線 (堺市内区間)の早期の自立・再生をめざす。

「市全体への効果の波及」

支援策の効果で、阪堺線沿線の沿線活性化 に一定寄与しているが、支援効果を沿線だ けでなく、市全体に波及させる必要がある。



関連施策との連携や協働を推進し、市全体への効果の波及をめざす。

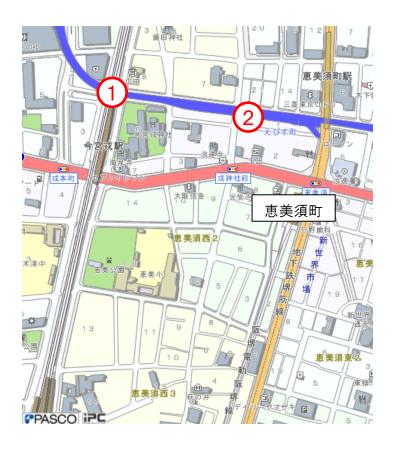
効果の波及に係る最近の取組み状況について

・効果の波及に係る取組みとして、関連団体との協働や連携などを行っている。

項目	実施状況	主体者	実施時期
新たな沿線施設	沿線施設「BON HOSTEL 、BON APARTMENT」 (恵美須町)	_	_
各種イベント等	浜寺ローズカーニバル	浜寺公園振興協議会	平成30年5月
	路面電車まつり	阪堺電気軌道株式会社	平成30年6月
	堺チン電の会による会員向けの講演会	未来へつなごう!堺チン電 の会	平成30年6月
	「PEACH LIVE」への掲載	Peach Aviation 株式会社	平成30年5月
	大道筋まちのデザインCafe 〜物件とまちの利活用〜	市民活動団体 EXSA. 堺区役所 企画総務課	平成30年7月
	SPinniNG MArkET	スピニング・ミル 71labo	平成30年7月
	ちん電マップ(テーマ:風流男)の発行	企業組合HUCA·C	平成30年5月

沿線施設「BON HOSTEL 、BON APARTMENT」(恵美須町)

・恵美須町停留場最寄りに、宿泊施設「BON HOSTEL(ボン ホステル)」が平成30年2月に、同じく宿泊施設「BON APARTMENT (ボン アパートメント)」が平成30年5月に開業した。





① BON HOSTEL (ボン ホステル)



② BON APARTMENT (ボン アパートメント)

関連団体との協働「浜寺ローズカーニバル」

・浜寺公園で開催された第41回浜寺ローズカーニバルにおいて、堺チン電の会による阪堺線のPRを行った。

主催:浜寺公園振興協議会

開催日 平成30年5月20日(日)

場 所 浜寺公園

・堺チン電の会による絵はがき販売、記念写真撮影、 ペーパークラフトの塗り絵等を実施。







関連団体との協働「路面電車まつり」

・阪堺電車我孫子道車庫で開催された第20回路面電車まつりにおいて、堺チン電の会による阪堺線のPRを行った。

開催日 平成30年6月9日(土)

場 所 阪堺電車 我孫子道車庫

- ・堺チン電の会による絵はがきや路面電車あめなどのグッズ販売。
- ・堺チン電の会 会報の配布。





絵はがき



路面電車あめ・マウスパッド

関連団体との連携「堺チン電の会による会員向けの講演会」

・堺チン電の会による会員向けの講演会(路面電車のトレンド)が開催された。

日 時 平成30年6月28日(木)

場 所 株式会社 福井

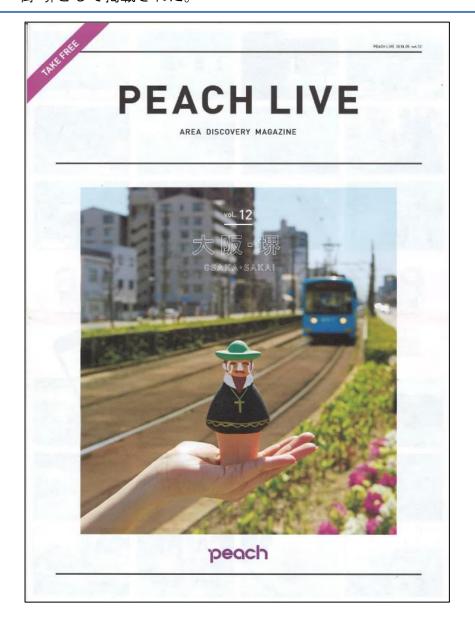
テーマ 「路面電車のトレンド」





フリーマガジン「PEACH LIVE」への掲載

・Peach(ピーチ)が発行するフリーマガジン「PEACH LIVE(ピーチライブ)vol.12」(平成30年5月発行)に、路面電車が走る 街 堺として掲載された。





関連団体との協働「大道筋まちのデザインCafe ~物件とまちの利活用~」

・大道筋周辺にお住まいの人や訪れる人にとって住みやすく楽しめるまちをつくっていくことを目的に、空き家、空き店舗の活用方法について考える「大道筋まちのデザインCafe」が実施された。

開催日 平成30年7月8日(日)

場 所 旧泉本機鋼ビル【御陵前停留場最寄り】

概 要 新規で創業を希望している方が、今後、空き物件を

活用する取組(アイデア)をプレオープンというか

たちで可視化し、物件の所有者や地域住民の方に見

ていただき検証を行いました。

【空き物件を活用する取組】

SOCIAL GOOD MARKETI

- ・堺市内の野菜を集めたファーマーズマーケット
- ・カフェ・フードの販売
- ・ものづくりワークショップ
- ・バイオリン奏者による演奏 など

主 催 市民活動団体 EXSA. 堺区役所企画総務課





沿線イベント「SPinniNG MArkET」

・スピニング・ミル及び71laboにおいて、ヒト・モノ・エンを紡ぐマーケット「SPinniNG MArkET」が開催された。

開催日 平成30年7月28日(土)、29日(日)

場所スピニング・ミル【高須神社停留場最寄り】

71 | a b o 【大和川停留場最寄り】

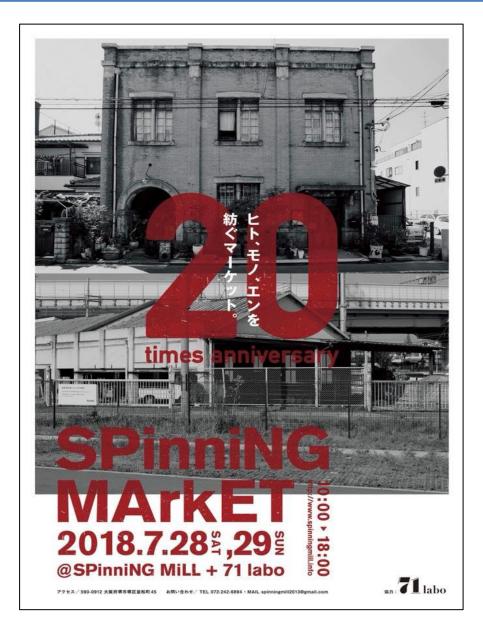
内容・物品や食品などのマーケット

・音楽ライブ

・ワークショップ etc

※同日、安立町、綾ノ町、大小路停留場付近においても 連携イベントが開催された。





関連団体との連携「ちん電マップ(テーマ:風流男)の発行」

・岸田委員が中心となり「第5号ちん電マップ(テーマ:風流男)」が平成30年5月に発行された。





テーマ:風流男(ふりゅうおとこ)

ちん電沿線の町ってまるで絵巻物のよう。次々と場面

が変わる。ある時は小さな発見と驚きの連続!またあ る時は"ぼんやり"と"ゆったり"の時を過ごす・・・・・・。 ディープ大阪・堺の風景や、歴史文化・人情、アヤシー、

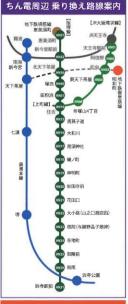
ちょっとありえない?!ほんまかいな!と思う風景な どをどんどん発見し、沿線の町を徹底的におもしろが

り、楽しがりますっ!!

与謝野晶子さんの短歌から「ふりゅうおとこ」= 芸術文化を深く愛し楽しむ人と解釈し、沿線の風流 男を追った。わたつみ=海の神様は、住吉浜においでになった神様だ。うしおの色は激しくあれくる う色だったのか。今まさに大きく流れをつくろうとしている人に密着してみた。

わたつみの うしほの色を上に着て 風流男達に ものいひてまし

※与謝野晶子と百選会(高島屋史料館)より



発行人情報(発行日:2018年春号)

457 h : IITA taami ライター:泉野祐子、小川雅司 坂本久実子、岸田かおる 協力:未来へつなごう! 堺チン電の会 堺市博物館 太成学院大学 地域デザイン研究室 発行部数:10,000 枚 発行:季刊<次号:2018年8月夏号(予定)> 発行人:企業組合 HUCA・C ちん電マップ事業部 関連サイト: http://chinbura.net.





浜寺駅前〜船尾 町歩き

浜寺界隈はギャラリーやカフェに生まれ変わった浜寺駅舎、諏訪森駅舎のステンドグラス、国登録文化 財の建物、手入れされた生け垣 和洋折衷の意匠等、美しい建物や風景を楽しめるお勧めエリアです。こ だわりのパン屋さん、老舗の和菓子、浜寺諏訪森御屋敷再生複合施設「遊」、最近新しいカフェもできてい ます。諏訪森には心温まる宝物のような物語があなたを待っていますよ。







TEFoPo(ティフポ) 美乃やの和菓子とお茶でほっこり♪ 名物は牛すじカレー 堺市西区浜寺諏訪森町中 2-179-4 072-261-0407 9:00~18:30 休(月)



堺市西区浜寺諏訪森町東 2-112-2



堺市西区浜寺諏訪森町東 3-319-2[遊 yu]内 11:00~19:00 (休)月.火

ちん電を眺めながらケーキと美味しい紅茶を♪店内に

072-283-6506 11:00~19:00 (休)水、第2·4火

飾られた古い諏訪ノ森風景写真が素敵です。



Green glass 工房は小さな一間。この部屋で生 み出される小さな彫金のアクセサ リーは、豊かな世界観で、見つめる と何か飾りかけてくるよう。

諏訪森「遊 yu」 栄造 ~ 宝物のような絵本~

宝物のような絵本です。(配者 坂本)

【コラム】諏訪ノ森駅舎 - 地域で愛される小さな宝物

南海本線の「諏訪ノ森駅舎」は 1919 (大正 8) 年に建設された非常に小さな駅 (面積: 48 m)である。数少ない現役の木造駅舎で希少性は高く、1998(平成 10)年、大阪府内 で駅舎としては初めて、登録有形文化財に登録されている。上部に張り巡らされたス テンドグラスや大正モダンを感じさせる照明、ウイーンのセセッションの影響を受け たと言われる待合室のデザインや破風が魅力的である。歴史・文化的価値も高い。土 木学会「現存する重要な土木建造物 2800 選」の C ランク、第 4 回 「近畿の駅百選」 や JTBの「残しておきたい駅舎建築100選:日本の駅舎(1994年)」などに選ばれている。 ステンドグラスには、浜寺から淡路島を眺めた海岸の様子が描かれ、コンビナート開 発で消滅した浜寺海岸の姿をいつまでも地域住民に伝えており、まちづくり上の価値 も高い。2006(平成 18)年 11 月に南海本線の連続立体交差の事業認可が下り、諏訪ノ 森駅舎の撤去が提示された。そこで、地域住民が主体となり、何度も検討を重ね、駅舎 の保存と活用に向けた活動が行われた。その努力が結実し、諏訪ノ森駅舎は「集い・憩 いの場」として保存されることになった。そして、現在も継続して、諏訪ノ森駅舎をま ちの拠点にするべく、積極的なまちづくり活動が地域住民の手によって進められてい る。諏訪ノ森駅舎は多くの地域住民に愛されており、まちの「シンボル」である。著者は 2011 (平成 23) 年、諏訪ノ森駅舎の経済的価値を仮想評価法を用いて明らかにした が、諏訪ノ森界隈の地域住民(諏訪森東1丁から西4丁の3.348世帯)にとって、年間 7,737,669 円相当の価値があると推計された。隣駅である浜寺公園駅舎は辰野金吾氏 の作品として大変有名であるが、諏訪ノ森駅舎は浜寺公園駅舎とは趣きの異なる、あ たたかな魅力を感じる。(小川 雅司 大阪産業大学 経済学部 教授)



